

事務連絡
平成28年9月2日

各検疫所 御中

健康局結核感染症課

医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部
企画情報課検疫所業務管理室

クリミア・コンゴ出血熱に係る注意喚起について

今般、スペインの首都マドリッドにおいてクリミア・コンゴ出血熱の発生が確認され、西ヨーロッパにおいて最初の国内感染例と考えられています。クリミア・コンゴ出血熱に関しては、ウイルスを有するマダニに咬まれること、ウイルスに感染した動物や人の血液等に接触することを通して感染することが知られており、スペインを含めた発生地域に渡航される際には、ダニに咬まれない、家畜などにむやみに触れない等の予防措置を講じるとともに、もし発生地域から帰国し、疑わしい症状がある場合には、早期に医療機関を受診し、適切な治療を受けることが重要です。

つきましては、別添のとおり啓発資料を作成しましたので、スペインを含めた発生地域への渡航者に対する注意喚起や、帰国・入国者に対する自己申告の呼びかけ等について、御対応方よろしくお願いします。

<クリミア・コンゴ出血熱について>

発生地域：中国西部、東南アジア、中央アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカ。

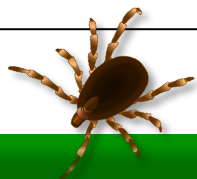
感染経路：ウイルスを保有したマダニに咬まれたり、感染動物（特にヒツジなどの家畜）と接触したりして感染する。

主な症状：2～9日の潜伏期ののち、発熱、関節痛、発疹、紫斑（出血）、意識障害など。

感染予防：草の茂ったマダニの生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避ける。また、家畜などにむやみに触れない。

参考：クリミア・コンゴ出血熱について

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000135514.html>



海外で クリミア・コンゴ出血熱 による死亡例が発生しています！

渡航中は、 ダニに 咬まれないよう 注意してください！



○草むらに入る場合は**長袖、長ズボン**を着用し、素足でのサンダル履き等は避けてください。

○**家畜**などにむやみに触れないでください。



クリミア・コンゴ出血熱

【主な症状】

2～9日の潜伏期ののち、**発熱、関節痛、発疹、紫斑（出血）、意識障害**など。

【感染経路】

ウイルスを保有した**マダニ**に咬まれたり、**感染動物（特にヒツジなどの家畜）**と接触したりして感染する。

【発生地域】

中国西部、東南アジア、中央アジア、中東、ヨーロッパ、アフリカ。

詳しくは
→ → →

検疫所ホームページ FORTH

<http://www.forth.go.jp>

FORTH クリミア・コンゴ

